解散総会を書面で

京文協 新組合には33人が加盟

京都文紙事務用品協同組合（竹田登理事長）は、既報のように3月30日に臨時総会を開催して同月31日付けで協同組合を解散し、新たに任意団体として再スタートすることを決めたが、協同組合の最後の総会となる令和2年度通常総会は、新型コロナウイルス拡散防止による政府の自粛要請に従い、組合員に書面を郵送しての書面総会とした。

書面で竹田理事長は「理事長を拝命して早5年が経過する。この間、社会情勢や業界情勢はめまぐるしく変貌した。この1年を振り返っても、10月の消費税アップ、そして新型コロナウイルスの世界的流行、オリンピック延期、海外インバウンドの激減等、大変厳しい状況が続いている。当組合においては、組合員の減少に伴う財政事情の悪化から協同組合を改組、新組合への組織変更を余儀なくされ、過日3月30日の臨時総会において満場一致で可決された。本総会は当組合として最後の通常総会となるので、皆様が集まり有終の美を飾り、なおかつ新組合の設立を確認する総会にする予定だったが、京都府も緊急事態宣言特定警戒都道府県に指定され、会合が自粛対象なった」と書面決議の経緯と理解を求めた。

議案は、第1号議案令和元年決算関係書類承認の件、第2号議案出資金返還の件、第3号議案剰余金配分の件で、出資金(年度末組合員数55人、1組合員10口、1口千円）を返金し、剰余金は組合員平等に配分する。

なお、新組合については、旧組合理事が発起人となり、33人が加盟を表明している。組合名称は、昭和49年の協同組合設立前の京都文紙事務用品組合とする。設立総会は、コロナ影響により開催日時は未定。また、秋に開催していた京都ぶんぐフェスタは、今年は見送り、来年は開催の意向という。

新組合加盟店（2ブロック制で組合運営）は次の通り。

【1ブロック】池田屋、いとう、オーモリ、キクタ、キタイ文具、京屋、鈴木萬堂、タケダ事務機、長角堂、中塚商店、藤井紙工、前川文具店、増尾文尚堂、矢杉文具センター、山下宗、やまもと、湯谷文昌堂

【2ブロック】オフィス7マエダ、皆山三商店、かっぱ堂、カミムラ、キタムラ、笹原文化堂、正美堂、タケウチ、塚本光文堂、ツチダ、ツチダ西浦店、天龍堂、花久、マスヤ文具店、ムラカミビジネス、山田屋商店

55周年記念事業など

全紙工総会 提出諸議案を承認可決

全日本紙製品工業組合（黒田章裕理事長）の令和2年度通常総会は、5月28日午後1時30分より、東京・寿の東京紙製品会館で開催、新型コロナウイルスの影響に配慮して、書面による参加を推奨、提出議案を原案通り承認して新年度をスタートした。

また、別項のようにコロナウイルス対策として、組合員への支援金5万円を支給、企業経営の一助にしてほしいと望んだ。

令和元年度事業報告承認は、創立55周年記念祝賀会の開催、製紙連と連携した、「その気持ち紙に書いて伝えよう」イベントでの景品である紙製品セットの提供、同じく日本製紙連との連携活動を展開した二子玉川での封筒づくりコーナーを設置したペーパーEXPOなどの事業内容を報告、原案通り承認した。

今年度の事業計画案は、コロナウイルス感染拡大による影響や東京オリンピック・パラリンピック延期を懸念しつつ、業界の改善と持続可能な社会への組合の活動を検討していくことを基本方針に、地域組合との交流促進や理事会・常任理事会、各委員会、業種別部会、働き方改革研究会、労働事情調査研究、後継者対策と事業承継の研究、日本郵便との定例会議開催、デジタル時代に対応した紙製品の開発やアナログ製品の魅力アピール、製紙連のバレンタインイベントやペーパーEXPOへの参加など、関連団体の連携強化、コロナウイルス感染症で影響を受けている組合員への支援策など、組合員の経営安定と組合の基盤強化を進める積極的な事業を盛り込み承認した。

新社長に小野裕之取締役が内定

○…ぺんてる株式会社は、1日、5月25日に開催された取締役会において和田優代表取締役社長に代わって、小野裕之取締役生産本部長兼草加工場長の代表取締役社長就任を内定したと発表した。6月25日開催の定時株主総会終了後の取締役会で正式に決定される予定。和田社長は、取締役会長に就く。

9月2日～4日に開催決定

○…iSOT夏

リード　エグジビションジャパン株式会社は、1日、新型コロナウイルスに関する様々な事情を勘案し、7月8日～10日に開催を予定していた「第31回国際文具・紙製品展ISOT夏」を開催延期としていたが、9月2日～4日に東京ビッグサイトで開催する、と発表した。

組合員にコロナ対策支援金支給

東名の紙製品団体

【ビューロウ発】新型コロナウイルス感染拡大は、ようやく一段落し、5月21日、関西三府県の緊急事態宣言は解除、首都圏や北海道は25日に解除されたが、厳しい環境は続く。

全日本紙製品工業組合（黒田章裕理事長）、協同組合東京紙製品工業連盟（堀口達夫理事長）、名古屋紙製品工業協同組合（棚橋泰仁理事長）、東京紙製品卸商業協同組合（中村雅昭理事長）の四団体は、厳しい環境下に置かれている組合員に対して、「新型コロナウイルス対策支援金」を支給することを決定した。

オリジナルのフェイスシールド

LIHIT LAB.が大阪府へ2万5千個無償提供

株式会社LIHIT LAB.（田中宏和社長、大阪市）と泉ケミカル株式会社は、コロナウイルス感染症の拡大防止の活動支援として、医療現場で不足しているフェイスシールドの自社製オリジナル商品を製造し、所属団体の大阪文具工業連盟（西村貞一理事長）を介して、6月1日に大阪府保健医療室医療対策課（大阪府健康医療部保健医療室医療対策課感染症グループ）に2万5千個を無償提供した。このオリジナルフェイスシールドは、大阪府からコロナウイルス感染症に最前線で尽力している医療機関に提供される予定。

オリジナルフェイスシールドは、同社商品で透明度の高いクリヤーホルダーF―78―25（クリスタル）の生地と、ベルト調節が簡単にできるポリウレタン製ゴムを活用した簡易代用品。同社のクリヤーホルダーF―78―25は透明度が高いことから、医療現場でフェイスシールドの緊急代用品として使用されているという声を聞き、活動支援の一助になればという思いから、オリジナル商品の製造と医療機関への無償提供を行うことにしたもの。

堀体制がスタート

大阪紙文具流通センター

来年は団地開設50周年に

協同組合大阪紙文具流通センター（林弘之理事長）の第52回通常総会は、5月27日午後3時から東大阪市の同センター組合会館で開催、上程諸議案を承認可決したほか、任期満了に伴う役員改選では2期4年務めた林理事長が退任し、堀隆氏が新理事長に、また熊田和央氏が副理事長、寺浦浩之氏、山名則之氏が理事に就任した。

林前理事長㊨と堀新理事長

今回の総会は、新型コロナウイルス感染拡大収束の目途が立たない状況にあることから、感染防止を考慮して、組合員に事前に議案書を送付、内容を確認・検討してもらった上で委任状の提出での議決を認めることにした。

当日は、組合員総数43人のうち13人が出席。総会は、名和秀記専務理事の司会で始め、林理事長が「新型コロナウイルス感染防止対策でこのような形での開催とした。組合運営は強固な財政基盤の下順調に進んでいる。これもひとえに組合員各位の協力の賜物であると深く感謝申し上げる。緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの蔓延が今後商売にどのような影響を与えるのか注視していきたい。色々と難しい問題が組合運営にも出てくるかもしれないが、各位の一層の協力を得ながら進めたい。来年は団地開設50周年の節目の年。今後も難しい状況の中でのかじ取りとなるが、引き続き協力願いたい」と挨拶。

引き続き同理事長が議長に就いて議案審議に入り、名和専務理事が①第52期事業・決算報告②第53期事業計画・収支予算案…などを説明し、いずれも原案通り承認可決した。

このうち、今年度の事業計画では①働きやすい団地づくりに努め、現状の安定した状態を堅持する②団地開設50周年記念事業の検討を進める…の2項目を重点課題に掲げた。

また、任期満了に伴う役員改選は、次のように新役員を選任した。

新理事長　堀隆（ホリアキ）

新副理事長　松本武久（アケボノクラウン）、熊田和央（熊田洋紙店）新、藤本良輔（美濃紙業）

理事　斉藤孝一（斉藤商事）、寺浦浩之（クツワ）新、林弘之（庫内）、村井久容（高田）、徳弘滋（ニッケン文具）、山名則之（ライオン事務器）新

専務理事　名和秀記（事務局専従）

監事　篠原秀光（サンユー）、米澤清（山孝紙業）

この後、大阪紙文具流通センター団地管理組合法人、株式会社文紙センターの総会を行い、上程諸議案を承認可決した。